

新製品開発分科会 解決案一覧

提案募集番号4-4

機能性成分を有する茶製品の開発



上記は農業総合試験場の考える解決策であってこれら以外の提案も歓迎します。

提案募集番号4-4

<作目・畜種：茶>



愛知県の 産地の現状

- ◆愛知県の荒茶生産量は577tで、全国生産量の1%程度であるが、西三河地域を中心として抹茶の原料となる高品質なてん茶産地としての特色がある(R2)。
- ◆一方、東三河地域では主にせん茶が生産されているが、近年、せん茶の価格低迷が続き、生産農家の離農に伴い茶栽培面積が急減している。
- ◆本県は大産地である静岡県と三重県に隣接し、大口ト生産による価格競争には太刀打ちできないことから、特色のある付加価値の高い茶生産を進め、他産地との差別化による生産者の経営安定を図る必要がある。
- ◆せん茶の生産者は販売力強化のため、既存の製茶機械を利用して、紅茶等の新たな加工品開発を進めている。



既存の製茶機械により生産者が開発した紅茶



農総試での 関連研究成果

- ◆茶園において秋芽（一般的には刈り捨てられている）を利用したてん茶栽培技術を開発した。



てん茶栽培ほ場

解決したい
困りごと

- ◆せん茶の価格が低迷するなかで、消費者の健康志向の高まりに着目した機能性商品への生産意欲が高まっている。
- ◆茶には血圧上昇抑制作用を有することが知られるγ-アミノ酪酸（GABA）が含まれており、含有率の高い高品質なせん茶ができれば付加価値の高い機能性食品として販売力強化に貢献できる。
- ◆茶生葉を嫌気条件下に置くとGABAが多量に生成されるが、嫌気処理の過程で生成する香味が品質悪化要因となり嗜好性が低下するため、ギャバロン茶（GABAを多く含む茶）の加工はほとんど行われていない。



解決案

提案募集番号4-4

キーワード：機能性農作物の開発

◆機能性成分を有する茶製品の開発

血圧上昇抑制作用を有するとされるギャバロン茶（GABA高含有）を始めとする機能性成分を有する、付加価値の高い茶製品を開発したい。

担当者：東三河農業研究所・茶業研究室・辻正樹、浅野純一